

グローバルライフ (大阪市都島区)

外国人人材を確保保へ

協同組合設立 10法人が出資

三養福祉会(大阪府門真市、菅幹夫理事長)が中心となり、社会福祉法人が集まって外国人材の受け入れや紹介、研修などを行う協同組合「グローバルライフ」を設立した。コロナ禍で海外からの受け入れは滞りがちだが、10法人が計約6000万円を出資。年間10000万円の予算で本格稼働し、コロナの影響で実習が終わっても母国に帰国できずにいる42人の外国人を採用するなど実績を上げている。(関西支局・赤坂志乃)

特別養護老人ホームやケアハウス、保育所など14施設を運営する社会福祉法人「三養福祉会」は、4年前から外国人技能実習生やEPA(経済連携協定)、在留資格「介護」などに基づく外国人を介護現場に受け入れてきた。新しい在留資格として、即戦力の人材を見込める「特定技能」が

設けられたのを機に、2019年9月に外国人技能実習生の受け入れや特定技能外国人の採用を行うと、「グローバルライフ」を設立。管理理事長が組合の代表理事に就任し、介護に必要な日本語教育や生活面のサポートなどを充実するために、日本語教師の資格を持つ中国人男性と通訳としてミャンマー、ベトナム、モンゴルの女性を採用した。

人が入国する予定を立て、モンゴルとミャンマーから特定技能外国人15人の受け入れ準備も進めていた。しかし、コロナ禍によって、そのうち一部の受け入れ計画はストップした。その一方で、技能実習が終わっても本国内に帰れない人たちが、在留資格を特定技能に変更して日本に引き続き滞在するケースが増え始めた。

茨城県社協 県自販店協 災害ボラ

茨城県社会福祉協議会(森戸久雄会長)と県自動車販売店協会(幡谷定俊会長)は12月21日、災害時の車両提供に関する協定を締結した。災害ボランティアセンターの運営に

洗面のサポートをするミャンマー人の介護スタッフ。技能実習生から特定技能に変更し、昨年1月から三養福祉会で働いている



スタッフは6人。20年6月に監理団体の許可を取得し、半年後の12月に三養福祉会として特定技能外国人の支援業務を行える登録支援機関の許可を得た。登録支援機関になるには、外国人の受け入れ実績や2年間以上の監理経験などが必要だ。このため、まずは実績のある三養福祉会が許可を得て、グローバルライフと連携する形でスタート。今後、グローバルライフも実績を積み上げて登録し、5年先、10年先の人材確保ができる体制を整

茨城県社会福祉協議会 / 県自動車販売店協会

